

環境新基準ISO取得

廿日市の農産物宅配BYC

廿日市市地御前の有機農産物宅配、BYCビヨウキが先月末、環境に配慮した経営の国際規格の新基準ISO14005を、中国地方以西の企業で初めて取得した。従業員9人の小規模企業。里重伸仁社長(50)は「とても光栄。仕事の励みにしたい」と喜んでいる。

(桑原正敏)



宅配用の有機野菜を仕分ける里重社長(左端)

中国地方以西で初 小規模企業「励みに」

徹底するなど、経営に工夫を凝らした。今後は顧客にも取得をPRする。

同商議所によると、市の個人宅を中心に、有機農産物の日本農林規格(JAS)基準を満たした農家の野菜や果物などを宅配する。島根県弥栄町(現浜田市)で農業経験のある里重社長が、無農薬など環境への負荷が少ない方法で生産する有機農産物を広めようと、1997年に同社を設立した。

同商議所によると、会員の約3分の2に当たる1070事業所が小規模企業。里重社長は「地域の中小企業が元気になるよう、環境に優しい事業の好事例になりたい」と話す。26日には同商議所で合格証授与式がある。

昨年10月、廿日市商工会議所に相談したのが取得のきっかけ。商品の箱詰めに入れ間違いが発生した際には手順書を基に再発防止を確認し、ごみ分別やパソコン省電力モードを